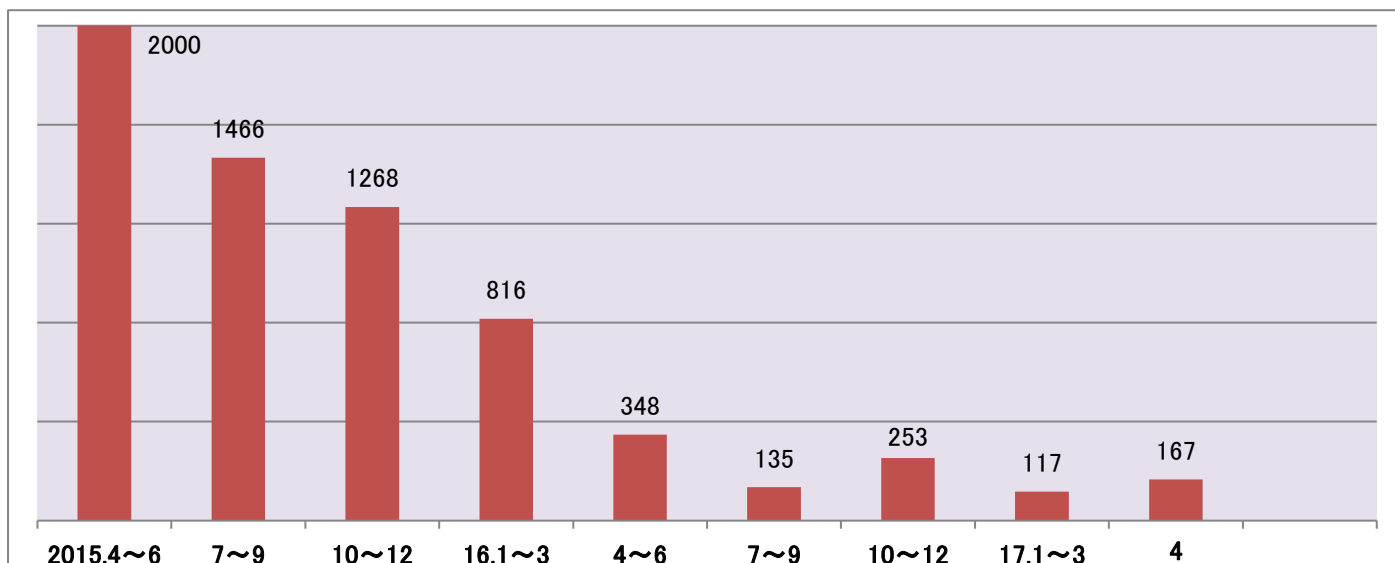
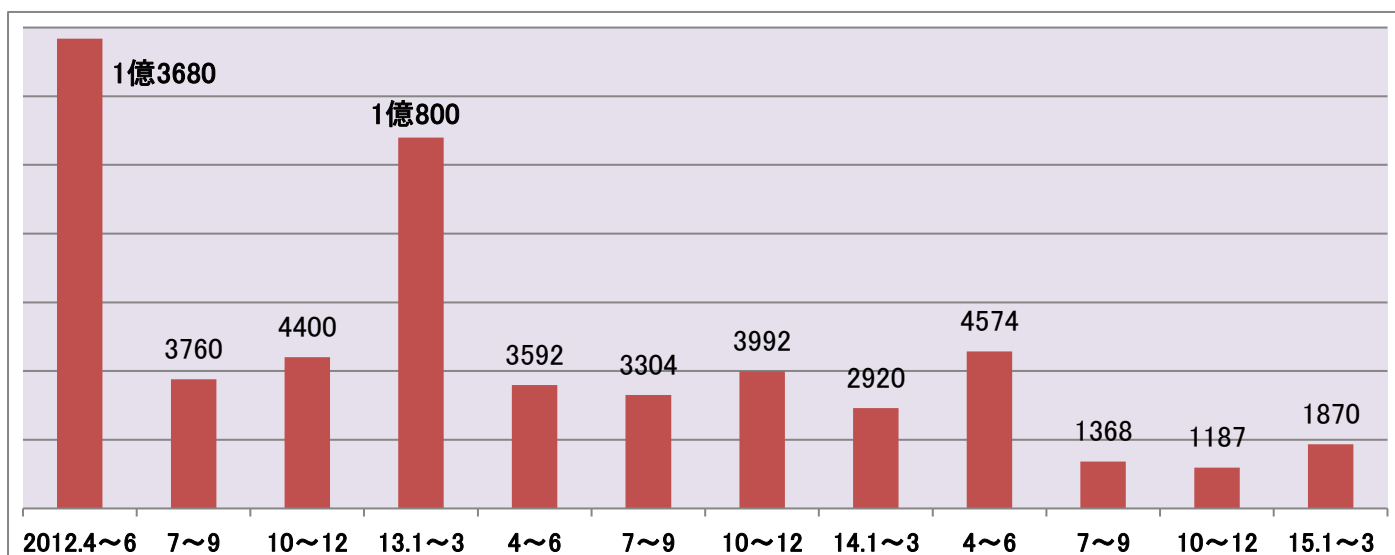
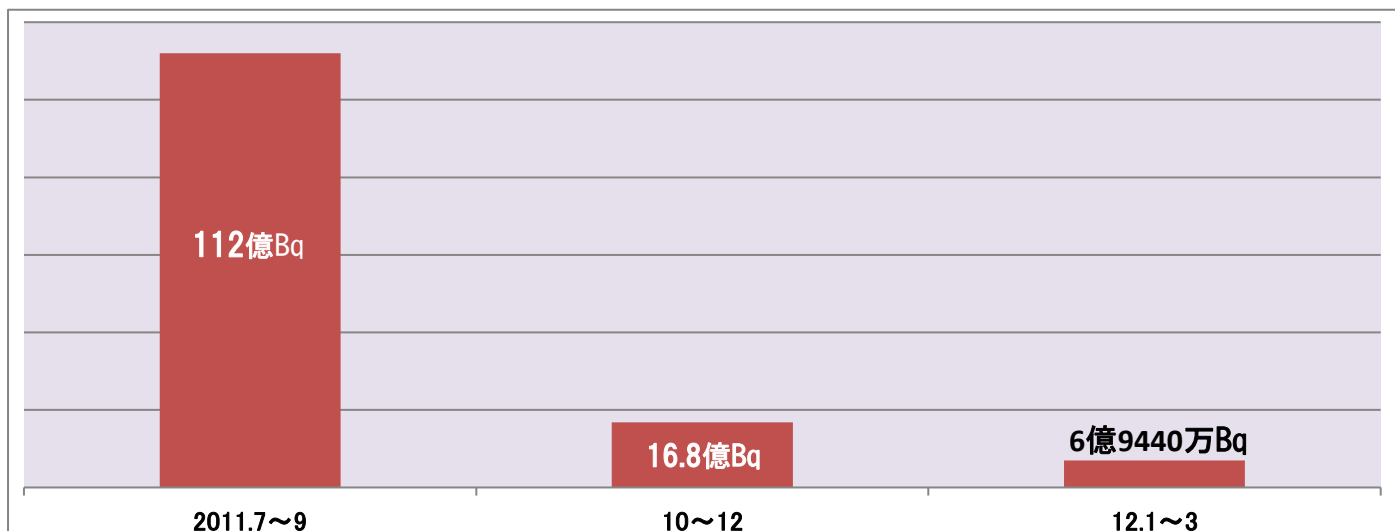


参考資料1 福島第一1～4号機建屋からのセシウム134・137の放出量（四半期毎の日量平均）  
 （上段・2011年度／中段・2012～14年度[万Bq]／下段・15年度～[万Bq]）



- ▶ 4号機の測定は13年11月から開始。それ以前は1～3号機の日量平均。
- ▶ 14年度までは「月1回、建屋開口部の空気中に於けるセシウム濃度を測定し、評価」。15年度以降は「連続ダストモニタの測定値を考慮した評価」へ変更。
- ▶ 17年4月までの最新の数字は下記（「原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果」）

[http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1/smp/2017/images2/additional\\_amount\\_170523-j.pdf](http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f1/smp/2017/images2/additional_amount_170523-j.pdf)

参考資料2 東日本各地への、放射性セシウムの降下量（セシウム134+137/月間平均・1平方km・ベクレル）

放射性セシウム(セシウム134+セシウム137/※1)の月間降下物(フォールアウト)・計測結果(「ベクレル・km <sup>2</sup> 」/月平均) (一部、セシウム以外の核種も記載)										
春橋にて該期間の月間平均を算出。千単位以下は四捨五入。NDは0と見做して計算。3.11発災直後の数値は赤字で表記。出典・計測方法・予算等は備考参照。										
自治体・地区名	福島県双葉郡	南相馬市馬場	福島市方木田(ほうきだ)	白河市昭和町	宮城県仙台市	山形県山形市	茨城県ひたちなか市	群馬県前橋市	東京都新宿区	神奈川県茅ヶ崎市
試料採取場所	複数個所 (別途地図参照)	横川ダム管理事務所 (原町区馬場字滝76-1)	環境創造センター福島支所 (方木田字水戸内16-6)	白河合同庁舎 (昭和町269) (福島第一から約80km)	環境放射線監視センター (宮城野区幸町4-7-1-2)	衛生研究所 (十日町1-6-6)	環境放射線監視センター (西十三奉行11518-4)	衛生環境研究所 (上沖町378)	健康安全研究センター (百人町3-24-1)	衛生研究所 (下町屋1-3-1)
ストロンチウム90 (2011年3~6月) ※3	計測不可				計測不可	46万	312万	63万	39万	19万
ヨウ素 (2011年3~6月)	計測不可					3975万	301億7625万	35億1776万	72億6325万	25億1300万
2011年3~6月	1兆7090億1250万	計測不可	662億8000万	計測不可		56億4250万	102億25万	25億9050万	43億3850万	19億4800万
同7~12月	81億6167万	計測不可	4億9583万	計測不可	1790万	9385万	2000万	1678万	1322万	
2012年1~6月	183億3483万	11億5667万(4~6月)	8億1400万	5億7167万(4~6月)	—	1238万	1238万	1505万	1786万	838万
同7~12月	35億7217万	3億4117万	1億483万	3億2167万	—	371万	371万	523万	545万	261万
2013年1~6月	24億1250万	6億7100万	2億4750万	3億3633万	1317万(4~6月)	537万	2787万	1398万	2381万	368万
同7~12月	15億5667万	1億5217万	3428万	5433万	226万	124万	1740万	331万	379万	152万
2014年1~6月	18億9300万	2億2717万	1億3153万	2億4517万	177万	300万	1397万	767万	761万	157万
同7~12月	16億1817万	1億167万	1813万	3151万	89万	74万	295万	81万	267万	68万
2015年1~6月	23億2917万	1億1000万	8050万	9616万	164万	211万	591万	364万	179万	103万
同7~12月	3億4367万	3518万	1743万	1760万	85万	88万	237万	62万	64万	32万
2016年1~6月	11億1783万	3813万	6218万	892万	129万	85万	254万	188万	118万	62万
同7~12月	4億1683万	4800万	1251万	216万	55万	30万	140万	141万	61万	26万
2017年1~4月	33億2000万	1億5100万 (1~3月の速報値)	6900万 (1~3月の速報値)	940万 (1~3月の速報値)	137万	100万	382万	420万	328万	115万
[3.11前との比較] 2010年4~12月	1万	—	ND(※2)	—	ND(※2)	—	9千	3万	ND(※2)	—
備考	双葉郡: 広野町・楡葉町・富岡町・大熊町・双葉町・浪江町・川内村・葛尾村		福島県による調査(速報値含む) <a href="http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/genan225.html">http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/genan225.html</a>			—	—	—	—	—
	※1 セシウム134の半減期は約2年。セシウム137は約30年。									
	※2 ND=検出限界値未満(「Not Detectable」)									
	※3 3.11前はND(検出限界値は「7万ベクレル/km <sup>2</sup> 」程度)/計測方法→大型の水盤で1ヶ月間に大気中から雨風等で降下したチリ等を収集。イオン交換法等で試料からストロンチウム90を分離・精製し、低バックグラウンド用ベータ線測定装置でストロンチウム90のベータ線を測定。									
	●原子力規制委員会が自治体から報告を求めているもの。降水採取装置で採取した降下物をゲルマニウム半導体核種分析装置で分析。2012年1月以降は採取し続けたものを計測。2011年の数字は各自治体が文部科学省に報告したもの。検出限界値は、試料及び測定状況により、都道府県によって異なる。									
	●原則として、出典は原子力規制委員会Webサイトの「都道府県別環境放射能水準調査結果(月間降下物)」 <a href="http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/list/195/list-1.html">http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/list/195/list-1.html</a>									
●ストロンチウム90と、3.11前のセシウムの数値は <a href="http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/6000/5808/24/194_Sr_0724.pdf">http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/contents/6000/5808/24/194_Sr_0724.pdf</a> (2012年7月14日付、文科省の報道発表)/3.11前のセシウムの数値は、低バックグラウンド用ベータ線測定装置で測定したセシウム137とセシウム134の合計値										
●「環境放射能水準調査委託費」は原子力規制委員会の予算に計上。/2013年度:17億9300万円⇒14年度:18億6300万円⇒15年度:17億5900万円⇒16年度:17億2000万円⇒17年度(要求額):21億9600万円/16年度までの出典: <a href="https://www.nsr.go.jp/data/000162270.pdf">https://www.nsr.go.jp/data/000162270.pdf</a>										